

第7回 球磨川橋梁復旧技術検討会

議事概要

- 日 時：令和5年9月15日（金） 15：00～16：30
- 場 所：九州地方整備局八代復興事務所1階会議室
- 出席者：園田委員、西田委員、松村委員、脇中委員
熊本県、九州地方整備局

【議事概要】

- 「球磨大橋」の被災状況の報告と被災原因及び被災メカニズムの推定
 - ・橋脚部の損傷状況や周辺地盤の洗堀状況などから可能性のある被災原因について確認し、了承された。
 - ・被災原因、及びと現地で調査された橋脚変位や橋脚基礎の洗堀・損傷状況をもとに、推定された被災メカニズムについて確認し、了承された。

- 「球磨大橋」の復旧方針
 - ・復旧方針は全橋架替とし、架橋位置の妥当性が確認された。

- 「球磨大橋」の橋梁形式選定の考え方
 - ・橋梁形式の選定に向けた前提条件、及び今回の被災原因を踏まえた配慮事項について確認し、了承された。
 - ・旧橋の基礎周辺地盤は今後も洗堀され続けることを前提に検討を進めることが必要との、助言を得た。
 - ・想定される新橋支持層にも軟質部が若干確認されるため、確実な支持層かをしっかり確認することが重要との、助言を得た。
 - ・今後も洗堀が進むことが予想されるため、橋梁は早期復旧が可能な橋種であることが望ましいとの、助言を得た。

- その他
 - ・球磨川橋梁で復旧中の概成した橋脚基礎について、現在の洗堀状況を確認すること。